

「インフラメンテナンスにおけるAI活用」シンポジウム

AI技術を利用して、インフラメンテナンスの業務プロセスを改善する取り組みが進んでいます。今後インフラメンテナンスにおけるAIの利活用を深化していくためには、個々のプロセスの効率化だけでなく、業務を再構成するような全体最適化が求められます。本シンポジウムでは、インフラメンテナンスにおけるAI導入状況の最新動向や関連技術を紹介し、今後のメンテナンスへのさらなる利活用・技術革新や研究開発のビジョンについて共に考えます。

○主催：土木学会構造工学委員会構造工学でのAI活用に関する研究小委員会、インフラメンテナンス国民会議革新的技術フォーラム

○日時：11月20日 午後1時～5時

○場所：土木学会講堂

○参加費 無料（申し込みは終了いたしました）

○本シンポジウムは、土木学会認定プログラム（JSCE19-1349，3.7単位）です。

○プログラム

司会 構造工学でのAI活用研究小委員会 幹事長 宮本崇

13:00 開会の挨拶

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 事業総括調整官 藤田士郎

13:10—14:30 第1部 基調講演

・土木研究所における橋梁点検ロボットとAI導入の取組について

(国研) 土木研究所 技術推進本部 先端技術チーム 新田恭士

・自治体業務におけるAIの活用可能性と留意点

(株) 価値総合研究所 井上陽介

・AI/深層学習を損傷・異常検知に使用するには～方法論の整理と適用事例

立命館大学 理工学部環境都市工学科 野村泰稔

・インフラメンテナンスでAI技術を活用するためには～土木技術者に求められるものとは

(国研) 土木研究所構造物メンテナンス研究センター 大島義信

14:40—16:10 第2部 インフラメンテナンス国民会議における取り組み

・インフラメンテナンス国民会議の活動

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課 調整官 松岡禎典

・道路維持管理におけるAIの活用

東京都品川区 防災まちづくり部 道路課長 多並知広

・技術紹介

株式会社日立システムズ
富士フイルム株式会社
株式会社フォトラクション

16:20-17:00 第3部 パネルディスカッション 今後求められる研究開発は何か？

パネリスト：新田恭士，井上陽介，野村泰稔，大島義信

ファシリテーター 構造工学での AI 活用研究小委員会 副委員長 阿部雅人

17:00 閉会の挨拶

構造工学での AI 活用研究小委員会 委員長 全邦釘

○資料は，当日配布いたしませんので，事前にダウンロードお願いいたします。

○講演は，

<https://www.youtube.com/watch?v=y-BymafNWm8>

にて，ストリーミング配信いたします。ただし，「参加証明書」の発行は、会場にて参加された方のみとなります。